

ダイキン史上最速^{※1} 3つのチカラでスピード除菌

業界初となるUVC 265nmを採用したダイキンのUVストリーマ空気清浄。

除菌作用が高い波長であるUVC 265nmの高いポテンシャルに加えて、

ストリーマ、**抗菌HEPAフィルター**、2つの技術が加わってその除菌力を高めます。

抗菌HEPAフィルターが優れた捕集力で捕まえた空気中の細菌を、**UVC 265nm**が除菌。

さらに約10万℃の熱エネルギーに匹敵する分解力の**ストリーマ**が、有害物質をしっかりと分解。

ダイキン50年の空気清浄技術を集めた、ダイキンだけの除菌システム。

除菌に徹底的にこだわるダイキンは、3つのチカラでスピード除菌します。

フィルターに捕らえた細菌をすばやく除菌^{※5}
25㎡の密閉した試験空間による30分後の効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

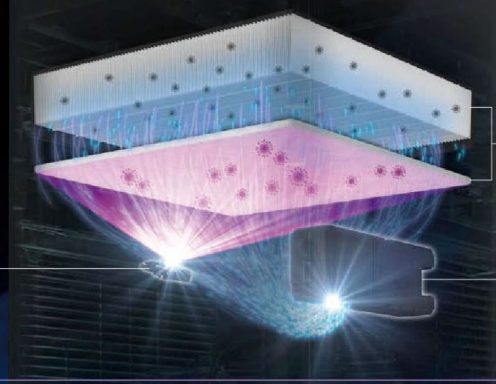
フィルターに捕らえたウイルスも抑制^{※6}
ACKB70Yは25㎡の密閉した試験空間、ACB50Xはセーフティキャビネット内での30分後の効果であり、実使用空間の実証結果ではありません。

※上記はACKB70Y、ACB50Xの試験結果です。

UVC 265nm

UVC LEDユニット
KLARAN™
AsahiKASEI

旭化成株式会社との協業、深紫外線LED採用だからウイルスや菌の抑制効果が高く、環境に配慮して水銀は使用していません。お手入れも不要です。



抗菌HEPAフィルター
(二層構造・一体型)

ストリーマユニット

※UVストリーマ空気清浄内イメージ

社会が再び動き始める今だからこそ、**人の集まる空間や、人の出入りの多い空間に、UVC 265nmの除菌力と、空調専門メーカーの技術を。**



ダイキンの業務用空気清浄機は一部の製品を除き、厚生労働省が推奨する「HEPAフィルター」かつ「風量5.0㎡/分程度以上」の機能を満たしています。
出典：厚生労働省 冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法 (2020年11月27日)



※1 フィルターに捕らえた細菌の除菌時間。 ※2 業務用空気清浄機において、2021年3月1日 ACB50Xで発表。 ※3 試験機(一財)ポテン品質評価機構 試験番号:25020007762-1 試験方法:JIS S 1902:2015 菌液吸込法 試験対象:3種類の細菌 試験結果:抗菌活性値2.0以上。 ※4 2022年3月現在、ストリーマ放電により酸化分解力を持つ分解薬を生成する技術を開発中。 ※5 試験機(一財)北里環境科学センター 試験方法:空気清浄機に搭載した集塵フィルター上流側(粗塵捕集部)に菌液を接種した試験片を貼付し、25㎡(約6畳)の試験空間で運転。30分後の生菌数を測定。試験対象:1種類の細菌 試験機:ACKB70Y-ACB50Xで実施(ターボ運転・深紫外線LEDをON) 試験結果:[ACKB70Y]30分後に99%以上抑制(北生発2021_0489号) [ACB50X]30分後に99%以上抑制(北生発2020_0764号) ※6 試験機:[ACKB70Y]株式会社食環境衛生研究所 [ACB50X](一財)北里環境科学センター 試験方法:空気清浄機に搭載した集塵フィルター上流側(粗塵捕集部)にウイルス液を接種した試験片を貼付して空気清浄機を運転。30分後のウイルス感染量を測定。[ACKB70Y]25㎡(約6畳)の試験空間で実施。[ACB50X]セーフティキャビネット内で実施。試験対象:1種類のウイルス 試験機:ACKB70Y-ACB50Xで実施(ターボ運転・深紫外線LEDをON) 試験結果:[ACKB70Y]30分後に99%以上抑制(217503N-1) [ACB50X]30分後に99%以上抑制(北環発2020_0614号)

業界初^{※2} 深紫外線(UVC)LED 265nmを採用

紫外線は波長10~400nm(ナノメートル)の目に見えない光で、100~280nmの短い波長を「深紫外線(UVC)」と呼びます。UV除菌は波長の違いによって効果に大きな差が生じ、なかでも波長265nm付近の深紫外線はRNA/DNAに吸収されやすく、除菌効果が高いため、短時間で除菌が可能です。ダイキンは「深紫外線(UVC)LED 265nm」を業界で初めて空気清浄機に採用しました。



抗菌HEPAフィルター^{※3}

静電HEPAフィルターに、抗菌剤を添着。菌の繁殖を抑制します。



※フィルターの仕様は機種によって異なります。

独自技術^{※4} ストリーマ

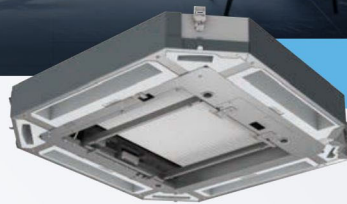
プラズマ放電の一種であるストリーマが、有害化学物質を分解。その分解力は、約100,000℃*の熱エネルギーに匹敵します。



*酸化分解力による比較。実質に高温になるわけではありません。



パッケージエアコンに取り付けるだけで、
空気清浄も除菌も。



エアコンに
取り付け



天井埋込カセット形
S-ラウンドフロータイプ

UV ストリーマ除菌ユニット

NEW 2022年6月発売

BAEF55D160

価格* 198,000円(税抜き)

UVC
265nm



抗菌・抗ウイルス
フィルター

UVストリーマ除菌ユニット

3つの技術の組み合わせでスピード除菌



フィルターに捕らえた細菌をすばやく除菌^{※2} フィルターに捕らえたウイルスも抑制^{※3}

25㎡の密閉した試験空間による30分後の効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。 25㎡の密閉した試験空間による30分後の効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

空気中に浮遊する有害物質を吸い込んで捕らえる

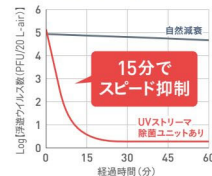
浮遊ウイルスを抑制^{※4}

25㎡の密閉した試験空間による15分後の浮遊ウイルスへの効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

浮遊細菌を抑制^{※5}

25㎡の密閉した試験空間による15分後の浮遊細菌への効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

■試験空間における浮遊ウイルス数の変化



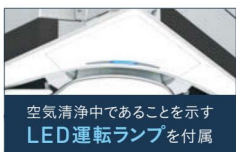
抗菌・
抗ウイルス
フィルター

UVC LED
ユニット

ストリーマ
ユニット

エアコンを運転しないシーズンでも、
除菌ユニットの単独運転が可能です。

※除菌ユニットにはファンがないため、エアコン等の送風運転が必要です



空気清浄中であることを示す
LED運転ランプを付属

S-ラウンドフロー別売品のオートグリルパネル・エコオートグリルパネル・新鮮空気取入キット(直付式)との併用が可能になりました。

※その他の別売品の併用可否については、スカイエアカタログ、業務用マルチエアコンカタログをご確認ください。

深紫外線対応の安全設計

- 深紫外線が機外へ漏れないよう制限するために遮蔽板を設置。
- 保護網により、深紫外線照射エリアに手が入らない設計。
- 保護網を取り出す際にはスイッチが作動し、深紫外線LEDが停止する安全設計。

■ダイキンスカイエア、ビル用マルチ、ガスヒートポンプエアコン対応機種

シリーズ	エアコン室内機タイプ	エアコン室内機種名	天井ふところの必要寸法
スカイエア	天井埋込カセット形	FHCP40~71EA形以降 FHCP63・80EB形以降	361mm以上(※321mm以上)
	S-ラウンドフロータイプ	FHCP80~160EA形以降	403mm以上(※363mm以上)
ビル用マルチ	天井埋込カセット形	FXYFP28~80D形以降	361mm以上(※321mm以上)
	S-ラウンドフロータイプ	FXYFP90~160D形以降	403mm以上(※363mm以上)
	天井埋込カセット形 ラウンドフロータイプ	FXYFP28~112M形以降 FXYFP140・160M形以降	361mm以上(※321mm以上) 403mm以上(※363mm以上)
グリーンマルチ	天井埋込カセット形	FXYAP45~80A形以降	361mm以上(※321mm以上)
	S-ラウンドフロータイプ	FXYAP112~140A形以降	403mm以上(※363mm以上)
ガスヒートポンプ エアコン	天井埋込カセット形	FGXFP28~80DB形以降	361mm以上(※321mm以上)
	S-ラウンドフロータイプ	FGXFP90~160DB形以降	403mm以上(※363mm以上)
	天井埋込カセット形 ラウンドフロータイプ	FGXFP28~112MM形以降 FGXFP140・160MM形以降	361mm以上(※321mm以上) 403mm以上(※363mm以上)

※パナソルスベサー採用時

※1 フィルター素材に抗菌・抗ウイルス加工を施しています。【抗菌作用】試験機関:広東省微生物分析試験センター 試験番号:2021FM19573R01Da 試験方法:JIS L 1902(繊維製品の抗菌性試験) 試験対象:2種類の細菌 試験結果:抗菌活性値3.0以上 【抗ウイルス作用】試験機関:広東省微生物分析試験センター 試験番号:2020FM34231R01 試験方法:ISO18184(繊維製品の抗ウイルス性試験) 試験対象:1種類のウイルス 試験結果:抗ウイルス活性値3.0以上 ※2 試験機関:一般財団法人 日本食品分析センター 試験番号:第21051979001-0201号 試験方法:製品に搭載したフィルター上流側に菌液を接種した試験片を貼り、25㎡(約6畳)の密閉した試験空間で運転。30分後の生菌数を測定。試験対象:1種類の細菌 試験結果:30分後に99%以上抑制 試験機:BAEF55D160で実施(FHCP160EMとBYCP160EAFを組合せ、急運転で実施) ※3 試験機関:株式会社食環境衛生研究所 試験番号:217500N 試験方法:製品に搭載したフィルター上流側にウイルス液を接種した試験片を貼り、25㎡(約6畳)の密閉した試験空間で運転。30分後のウイルス感染価を測定。試験対象:1種類のウイルス 試験結果:30分で99%以上抑制 試験機:BAEF55D160で実施(FHCP160EMとBYCP160EAFを組合せ、急運転で実施) ※4 試験機関:(一財)北里環境科学センター 報告書番号:北生発2021_0375号 試験方法:25㎡(約6畳)の密閉した試験空間で日本電機工業規格(JEM1467)を参考に浮遊ウイルスの抑制性能を評価。試験対象:1種類のウイルス 試験結果:自然減衰と比べ15分で99%以上抑制 試験機:BAEF55D160で実施(FHCP160EMとBYCP160EAFを組合せ、急運転で実施) ※5 試験機関:一般財団法人 日本食品分析センター 試験番号:第21051979001-0101号 試験方法:25㎡(約6畳)の密閉した試験空間で日本電機工業会自主基準(HD131)の性能評価試験にて実施。試験対象:浮遊した1種類の細菌で実施 試験結果:15分後に99%以上抑制 試験機:BAEF55D160で実施(FHCP160EMとBYCP160EAFを組合せ、急運転で実施) ※6 使用条件により、交換時期は異なります。